レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
京都牝馬ステークス	別定	GIII	京都	芝1400m	良想定	平坦	中荒れ	C

※文字色の意味 2021/2/20

赤…GOOD妙味大な馬 青…BAD危険な馬

紫…DARKHORSE穴馬

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	斤量	能力	コース	馬場	血統	展開	総合	人気	印	結果	
1	カリオストロ	北村友	エイシンフラッシュ	キングマンボ	フジキセキ	フジキセキ	54	C	A	B	C	E	D	8	△	14	
2	ヤマカツマーメイド	園分優	ロードカナロア	キングマンボ	グラスワンダー	ロベルト	54	D	B	B	B	C	D	12	消	8	
3	メイショウケイメイ	吉川	ワークフォース	キングマンボ	デュランダル	サンデーサイレンス	54	E	B	B	C	E	E	16	消	7	
4	イベリス	酒井	ロードカナロア	キングマンボ	ボストンハーバー	シアトルスルー	54	C	B	B	B	A	E	D	3	▲	1
5	マリアズハート	藤井勲	Shanghai Bobby	ストームキャット	Maria's Mon	レイズアネイティヴ	54	C	C	D	C	B	C	11	△	12	
6	アンリミット	城戸	メイショウボーラー	ヘイロー	マンハッタンカフェ	サンデーサイレンス	54	D	D	E	C	E	E	15	消	15	
7	アイラブテラー	岩田康	トーセンラー	ディーブインパクト	ダンスインザダーク	サンデーサイレンス	55	B	B	C	C	A	B	4	☆	4	
8	リリーパレロ	松山	ロードカナロア	キングマンボ	フレンチデビュティ	ゲイストリジント	54	C	B	B	B	B	C	1	△	11	
9	ビッククインバイオ	武豊	キングズベスト	キングマンボ	ゼノロブロイ	サンデーサイレンス	54	C	C	B	B	C	C	7	○	10	
10	アマルフィコースト	幸	ダイワメジャー	サンデーサイレンス	High Chaparral	サドラーズウェルズ	54	C	B	B	B	D	C	10	△	6	
11	アフランシール	秋山真	ハーツクライ	サンデーサイレンス	サクラバクシンオー	プリンスリーギフト	54	C	B	B	C	A	B	13	▲	13	
12	シャインガーネット	田辺	オルフェヴル	ステイゴールド	Gone West	ミスターオズ	54	B	A	A	C	A	A	2	◎	5	
13	メイショウショウブ	園分恭	ダイワメジャー	サンデーサイレンス	キングカメハメハ	キングマンボ	54	C	B	B	A	E	D	14	消	16	
14	ブランノワール	団野	ロードカナロア	キングマンボ	Singspiel	サドラーズウェルズ	54	C	B	B	B	A	B	9	△	3	
15	ギルデッドミラー	福永	オルフェヴル	ステイゴールド	Tiznow	インリアリティ	54	B	A	A	C	A	B	5	☆	2	
16	リパティハイツ	和田竜	キングカメハメハ	キングマンボ	Dubawi	ミスターオズ	56	C	C	C	C	C	C	6	△	9	

※評価はこのレース中の相対評価になります

PREVIEW

例年はそのレース名通りに京都芝1400mで行われているレースですが、今年は阪神開催なので例年の傾向は参考にならず、というわけで、昨年行われた阪神芝1400mの全レースのラップ平均を出してみました。その結果がこんな感じ。

12.3 - 10.8 - 11.4 - 11.7 - 11.6 - 11.7 - 12.2 (34.5 - 35.5)

昨年のレースラップ平均とコース高低断面図を見てお分かりかと思うが、スタートして平坦から下り坂になるコースレイアウトのため、この条件は非常にテンのラップが速くなりやすい。より距離が短い阪神芝1200mよりもテンのラップが速くなることはザラですし、その上で前半飛ばした分最後の急坂部分で上がりがかかって消耗戦になるのが特徴。競馬ファンが考える芝1400mのイメージに最も近い条件と言って良いんじゃないだろうか。

前半から中盤部分にかけてラップが緩むところがないので、途中で息を入れなきゃいけない馬にとっては厳しい舞台。ワンペースでずっとスピードを維持できて、なおかつ溜めが効いて最後にグッと急坂で差し込んでこれのような馬が有利な舞台。今年の出走メンバーを見てもアマルフィコースト、アンリミット、イベリス、カリオストロ、ビッククインバイオ、メイショウショウブとやたらに徹底先行タイプの馬が揃った印象。開幕週の阪神芝の馬場を見る限り、圧倒的に先行有利の馬場だったことを考えても先行争いは激しくなりそうで、ある程度は溜めて差してこれる馬が有利になると見ます。

本命は◎シャインガーネットが面白い。これまでの戦績を見ても、マイル重賞の3戦はどれも行きつぱり抜群で好位からの競馬ができており、手応え十分のところから伸びあぐねて掲示板付近の結果。一方でファルコンSは激流を好位追走から突き抜ける素晴らしい内容でしたし、この馬は1400mがベストなんだろう。前走のターコイズSでもかかっていたし、今回は短縮ローテでベスト条件となれば絶好の狙い目だろう。

REVIEW

阪神芝は開幕週に引き続いて前残りの高速馬場。そんな馬場を見越してスッと先手を奪ったイベリスが押し切り勝ち。勝ち馬について行った馬は全て潰れてしまい、2着以下は脚を溜めた馬が突っ込んで上位を独占する結果となった。

コース特徴

阪神芝1400mはテンのラップが速くなりやすい。その上で最後に上がりがかかる特殊な芝1400m適性が要求される舞台。

馬場レベル&バイアス

B=やや高速

血統傾向

開幕週の阪神芝はキングマンボ系が優勢。

展開

やたらに徹底先行タイプの馬が揃った印象。開幕週の阪神芝の馬場を見る限り、圧倒的に先行有利の馬場だったことを考えても先行争いは激しくなりそうで、ある程度は溜めて差してこれる馬が有利になると見ます。

データなど特記事項

今年は阪神開催なので例年のデータは使えず。

危険な馬

リパティハイツ=近走は前向きな気性を考慮してスプリント戦で活躍していた印象。なおかつ前走はタフ馬場も向いていた感じがあり、今回は距離延長、高速馬場と条件が向かない感じはします。

妙味大な馬

シャインガーネット=これまでの戦績を見ても、マイル重賞の3戦はどれも行きつぱり抜群で好位からの競馬ができており、手応え十分のところから伸びあぐねて掲示板付近の結果。一方でファルコンSは激流を好位追走から突き抜ける素晴らしい内容でしたし、この馬は1400mがベストなんだろう。

穴馬

ブランノワール=ブチノワールの子供たちは兄ステイオンザトップを見ても一瞬しか脚が使えないタイプ。この馬はロードカナロア産駒ということもあるので、新馬戦以来使われていないが1400mぐらいで脚を溜める競馬が合う可能性あり。ビュンと一瞬の脚は使える馬なので、上手くハマれば。

想定時計	上3F	下3F
1:19:9	33.9	34.6

想定ラップタイム

12.1 - 10.7 - 11.1 - 11.4 - 11.4 - 11.3 - 11.9

Copyright (C) 2014 - KAZ
All Rights Reserved.
本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。